

DX という 難題



デジタルトランスフォーメーションが声高に叫ばれるなか、新規事業開発において、テクノロジーを活用しスピーディにプロトタイプを打ち出していくことが求められています。アイデア自体は創出されるものの、そのアイデアの妥当性検証やテクノロジー実装のリスク確認などが早期にできず、時間が経ってからアイデアが実現できないと気づくことも多くあります。プロトタイプ開発の検討段階で、例えば以下のような課題を感じたことはありませんか？

“

顧客が求めているものは理解したが、テクノロジーでどのように実装できるかが想像できない。

“

蓄積されたデータはあるものの、どのような技術を活用したら顧客課題を解決するものが作れるかわからない。

“

時間をかけて開発したプロトタイプに必要な機能が抜けている。

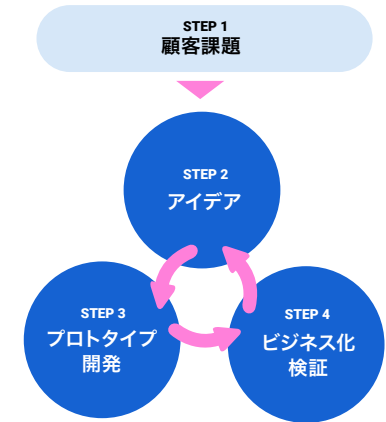
“

社内で開発したアルゴリズムをサービス化・アプリ化したいが、どんなUIが必要かわからない。

DXのアイデアを確実にビジネスに繋げるためには？



リーンスタートアップの方法論を取り入れ、MVP（実用最小限のプロダクト）の開発を進め、ユーザー調査、市場展開を進めていくプロセスにおいては、様々なリスクが潜んでいます。特に、アイデアを生成し、MVPを開発する初期フェーズにおいては、アイデアの妥当性を確認せずに進めてしまうことでうまくビジネス化フェーズにつながらなかったり、テクノロジー課題を整理しなかったがために難易度が高すぎて開発が頓挫してしまったりと様々な課題が生じます。このような課題を解決するためには、デザイン思考やリーンスタートアップの方法論、技術の目利きによるテクノロジー課題の整理を行い、そしてプロジェクトのフェーズを行ったり来たりするアジャイルなプロジェクト運営を行う必要があります。



油断するとハマりやすい3つの落とし穴

1

アイデアの妥当性が確認できていない

新規事業の源となるプロトタイプは、顧客中心で考える必要があるにもかかわらず、社内のアセット（技術・サービス）を中心に考えてしまい、蓋を開けてみると顧客から全く必要とされていなかった。

2

テクノロジー課題の整理がされていない

アイデアの斬新さや新規性はありUIイメージの開発まではできたが、テクノロジー課題が整理されず、ソフトウェア開発に着手できない。

3

時代遅れのプロジェクト運営

要件書や仕様書を作成することに多くの時間を割いてしまい、顧客へのテストをスピーディーに実行できない。また、仕様書の通り開発を進めてもらっても、想像と異なる成果物が納品される。

デザイン思考や
リーンスタートアップの
方法論で予防する

技術の目利きで
クリティカルな課題を早期に
発見し検証する

アジャイルな
プロジェクト運営方法で
スピードを改善

TC3の「DX キックオフパッケージ」では陥りがちな落とし穴を避けながら、最適なルートでプロトタイプ開発を進め、新規事業立ち上げの初期フェーズをお客様と共創いたします。

詳細は
裏面へ

3ヶ月でアイデアの検証から技術課題の整理までを一貫してご支援

DX キックオフパッケージ

TC3 株式会社

お問い合わせ
お申込みは

✉ info@tc3.co.jp

🌐 www.tc3.co.jp/contact/

TC3 が提供する『DX キックオフパッケージ』は、お客様との共創プロジェクトの形式で、実際に見て・触れるられる UI をベースとしたプロトタイプ開発を行うことによって、アイデアの妥当性検証を行います。また、その検証と並行して技術課題の整理を3ヶ月の期間で実施します。お客様との対話を通して顧客ニーズ仮説に応じた UI を開発することによって、ユーザー検証を迅速に進めることが可能です。また、プロトタイプから実ビジネスにスムーズに移行する為の DX プロジェクト推進計画案をご提示いたします。

アイデアの妥当性検証



リーン・キャンパス、デザイン思考などのフレームワークを活用

アイデアのビジュアライズ



モバイルアプリ、ウェブブラウザ環境向けの UI を Figma などを活用し共有

技術課題の整理



アイデアを実現するための技術要素及び課題を整理。優先度の高い技術要素の調査 / テストを行う。

DX プロジェクト推進計画提案書



実際に中長期的に DX プロジェクトとして推進するための中期的な推進計画概要の案

デザイン思考

IDEO U Foundations in Design Thinking 修了デザイナー 鶴田将悟監修



グローバルの群衆の知を活用したプロジェクト運営

開発される UI は世界で 150 万人以上のメンバーを擁する Topcoder のデザインコンテストによって、複数のイメージ案から最もアイデアにマッチしたアウトプットを選択することが可能です。

3ヶ月間のアジャイルでのプロジェクト運営を経験しながらプロトタイプ開発を実施

スケジュール

2 週間を 1 スプリント（単位期間）とし、隔週でのミーティングを中心としたコミュニケーションで、積み上げ式で UI をブラッシュアップすると共に、技術課題の確認を進めます。

スケジュール	内容
キックオフワークショップ 3時間	顔合わせ / アジャイルの理解を深めるためのご説明 / お客様のゴールイメージ共有 / ゴール及び今後の進め方の合意形成 / ネクストアクションの確認
Sprint ミーティング 1 2時間	リーンキャンパスのブラッシュアップを通して顧客・顧客課題・アイデアの解像度をあげる
Sprint ミーティング 2~5 各2時間	UI ・ UI イメージのご共有→フィードバック ・ リーンキャンパスへ立ち返った確認を通し、UI のブラッシュアップ 技術 ・ 技術要素の洗い出し ・ 構成図案 ・ 難易度、優先度などのディスカッション 全体 ・ DX プロジェクト推進計画概要（案）のご共有
報告会 1時間	ビジュアル化された UI 画面をリーンキャンパスで解像度を高めた顧客像・顧客課題を持つペルソナに対して作成したことをご紹介。ネクストステップのご提案。

チーム編成

お客様



プロダクトオーナー

プロダクトにおける意思決定をする。

TC3



プロジェクトリード

プロジェクト全体のファシリテーションを、技術・デザイン双方俯瞰し実施。



デザインリード

お客様のアイデアをもとに、該当するアイデアに適した UI/UX に必要な要素を整理。



テックリード

ユーザーストーリー実現に必要な技術を整理し、難易度や優先度を整理。

コミュニティ



Topcoder

開発、UI/UX、データサイエンス、クラウド技術それぞれのスペシャリストがオンデマンドで参画。

TC3 の実績

TC3 は日本の大手企業様・行政機関様向けにデータサイエンス領域（アルゴリズム開発）からクラウドネイティブな技術を活用したソフトウェア開発、UI/UX 開発まで、多くの実績があります。

携帯通信事業者 ブロックチェーンを利用した国際募金プラットフォームのプロトタイプ開発 [Dev.](#) [UI/UX](#)

医療機器メーカー データ分析向け技術コンサルティングと特定音声検出アルゴリズム開発 [Algo.](#) [Dev.](#)

経済産業省 事例集 Web アプリケーションの UX 刷新及び開発 [Dev.](#) [UI/UX](#)

ITベンダー技術研究所 組合せ最適化問題の解法アイデアのリサーチ [Algo.](#) [Dev.](#)

電気・精密機器メーカー 病理画像セグメンテーションアルゴリズム開発 [Algo.](#)